

国際交流会

台湾省エネ政策・技術交流会に参加しました

【事業概要】

一般財団法人省エネルギーセンターは、台湾産業サービス基金会（FTIS: Foundation of Taiwan Industry Service）の委託を受けて、2018年9月、台湾・台北にて台湾經濟部工業局主催の「台日省エネ政策及び技術交流研修会」に参加しました。台湾における省エネ支援事業の可能性と、省エネ見える化ツールの市場展開可能性を検討することを目的に、ECCJの役割・実績、日本の産業における省エネ推進状況、IOT/AI活用の取り組み事例、省エネ見える化ツール（ENE-CAT）等について説明し、質疑応答等を行いました。



講演会場の様子



講演会での発表(ECCJ)



日本側出席者と台湾事務局等



円卓会議の様子



パネルディスカッションの様子



パネルディスカッションでの発表(ECCJ)

・2018年9月4日～5日の2日間の会期は、①講演会、②円卓会議、③パネルディスカッションの3部構成で行われました。最多時で100名超の聴衆が集まり、アンケート結果も4.5点(総合評価、5点満点)と好評でした。

・ECCJは全セッションに参加し、日本の省エネ推進組織の動き及び最新省エネ技術発展状況、日本における工場省エネ技術及び事例紹介、最近20年間に日本の石油化学産業でよく使われた省エネ技術と台湾での応用可能性、省エネ見える化ツール（ENE-CAT）の台湾での市場展開可能性等について発表し、産業界での多角的省エネ推進の提言を行いました。

・全体を通じて得られた知見は以下の通りです。

①台湾の省エネは、個別技術・設備市場としては企業ベースの対応がかなり進んでいるが、全体的な省エネ取組の体制整備は今後の課題。ECCJとしての省エネ関連の協力又は支援事業については、台湾産業サービス基金会及びESCO協会等との不断の情報交換を通じ、具体的な需要に対し対応していく必要がある。現地企業や、日系メーカーの現地支社の情報網の活用も有効。

②省エネ見える化ツール(ENE-CAT)については、今回のワークショップで、現地関係者に対し、興味・関心を一定程度植え付けることは出来た。市場展開可能性は一定程度存在すると見られることから、主として台湾ESCO協会を通じて市場開発を進めていく。